

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-78497

(P2009-78497A)

(43) 公開日 平成21年4月16日(2009.4.16)

(51) Int.Cl.
B42D 11/00 (2006.01)F1
B42D 11/00

テーマコード (参考)

E

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2007-250929 (P2007-250929)
(22) 出願日 平成19年9月27日 (2007. 9. 27)(71) 出願人 000102980
リンテック株式会社
東京都板橋区本町23番23号
(74) 代理人 100101188
弁理士 山口 義雄
(72) 発明者 小林 賢治
東京都板橋区本町23-23 リンテック
株式会社内

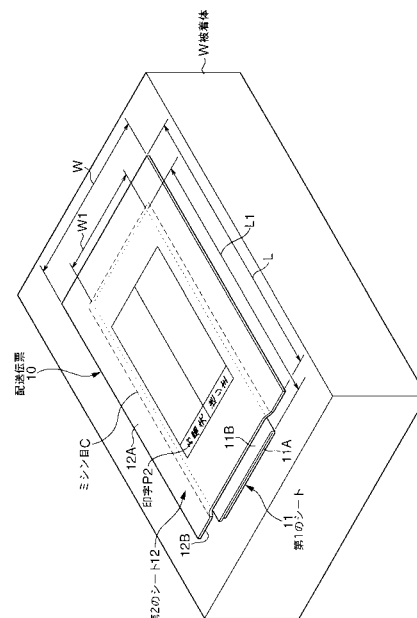
(54) 【発明の名称】 配送伝票

(57) 【要約】

【課題】 印字すべき情報量が増大しても、シート全体の再設計をすることなく対応することのできる配送伝票を提供すること。

【解決手段】 第1のシート基材11Aの両面に印字P1が施される第1のシート11と、当該第1のシート11とは別体に設けられるとともに、第2のシート基材12Aの一方の面に接着剤層12Bが設けられ他方の面に印字P2が施される第2のシート12とにより配送伝票10が構成されている。第1のシート11は、折り畳まれた状態で剥離処理層11Bを介して第2のシート12に仮着され、第1のシート11の外側に表出する接着剤層12Bを被着体Wに接着することにより第2のシート12と被着体Wとの間に保持される。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

宅配商品に関する情報を含む秘匿情報を両面に印字される第 1 のシートと、当該第 1 のシートとは別体に設けられるとともに、一方の面に接着剤層が設けられ他方の面に配送情報が印字される第 2 のシートと、からなる配送伝票であって、

前記第 1 のシートを折り畳んで前記第 2 のシートの接着剤層側に重ね合わせたときに、第 1 のシートの外側に前記接着剤層を表出可能とし、当該第 1 のシートは、前記第 2 のシートを被着体に接着したときに当該第 2 のシートと被着体との間に保持されるとともに、第 2 のシートと分離可能に設けられていることを特徴とする配送伝票。

【請求項 2】

前記第 1 のシートの端部は前記第 2 のシートの端部からはみ出す大きさ若しくは相対位置に保たれることを特徴とする請求項 1 記載の配送伝票。

【請求項 3】

前記第 2 のシートには、折り畳まれた状態の第 1 のシートの外周に沿ってミシン目が形成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の配送伝票。

【請求項 4】

前記第 2 のシートとの合わせ面となる第 1 のシート部分には剥離処理層が設けられていることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の配送伝票。

【請求項 5】

前記第 2 のシートには、当該第 2 のシートから剥離可能な受領書が仮着されていることを特徴とする請求項 1 ないし 4 の何れかに記載の配送伝票。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は配送伝票に係り、更に詳しくは、宅配商品に関して秘匿する必要性のある情報を隠蔽した状態に保つことができるとともに、その情報量が増大した場合でも対応することのできる配送伝票に関する。

【背景技術】

【0002】

近時、インターネットやテレビショッピング等の普遍的な拡大に伴い、伝統的な店頭販売に加えて通信販売が普及するに至り、配送業者が販売者に代わって商品を消費者に届ける流通形態が多く見られるようになってきている。そのため、配送伝票を通じて商品に関する情報、例えば、商品名、商品価格等が漏洩し得ることとなる。これらの情報は、消費者が購入した商品が何であるかを特定するため、消費者のプライバシーに大きく関わる秘匿情報であるとともに、商品価格は、商品価値を把握できるため、流通過程における盗難防止を図る観点からも秘匿情報といえる。

【0003】

このような配送伝票としては、例えば、特許文献 1 に開示されている。同配送伝票は、被着体に貼付したときに表面に位置する副貼付票と、この副貼付票に連設された領収・配達票部、正貼付票とからなり、正貼付票を副貼付票の裏面側に折り畳んで位置させた状態で正貼付票に設けられた接着剤層と、副貼付票の外側に設けられた接着剤層とを被着体に貼付する構成となっている。

【0004】

【特許文献 1】特開 2002-67546 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、特許文献 1 に記載された配送伝票にあっては、正貼付票の一方の面に接着剤層が設けられているため、正貼付票の印字領域は片面のみとなる。従って、領収・配達票部、正貼付票に印字すべき情報量を増やしたい場合でも、面積的に一定の制約を伴う

10

20

30

40

50

、という不都合がある。そこで、貼付票を増やして対応することが理論上可能であるが、この場合、配送伝票全体の大きさや印字配置レイアウト等を変更しなければならず、余計な部分の設計変更が余技なくされる、という別異の不都合を招来する。

【0006】

[発明の目的]

本発明は、このような不都合に着目して案出されたものであり、その目的は、印字すべき情報量が増大しても、大幅な設計変更の不要な配送伝票を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0007】

前記目的を達成するため、本発明は、宅配商品に関する情報を含む秘匿情報を両面に印字される第1のシートと、当該第1のシートとは別体に設けられるとともに、一方の面に接着剤層が設けられ他方の面に配送情報が印字される第2のシートとからなる配送伝票であって、前記第1のシートを折り畳んで前記第2のシートの接着剤層側に重ね合わせたときに、第1のシートの外側に前記接着剤層を表出可能とし、当該第1のシートは、前記第2のシートを被着体に接着したときに当該第2のシートと被着体との間に保持されるとともに、第2のシートと分離可能に設けられる、という構成を採っている。

10

【0008】

本発明において、前記第1のシートの端部は前記第2のシートの端部からはみ出す大きさ若しくは相対位置に保たれる、という構成を採ることができる。

【0009】

20

また、前記第2のシートには、折り畳まれた状態の第1のシートの外周に沿ってミシン目が形成された構成を採ることが好ましい。

【0010】

更に、前記第2のシートとの合わせ面となる第1のシート部分には剥離処理層が設けられる、という構成を採っている。

【0011】

また、前記第2のシートには、当該第2のシートから剥離可能な受領書が仮着される、という構成を採ることができる。

【0012】

なお、本発明において、「印字」は、文字、記号、図形又はこれらの任意の組合せを含む概念として用いられる。

30

【発明の効果】

【0013】

本発明によれば、秘匿情報が両面に印字可能な第1のシートが折り畳まれた状態で第2のシートと被着体との間に保持されるため、第1のシートの印字領域を十分に確保することが可能となる。また、第1のシートを設計変更したとしても、第2のシートは変更が不要であり、その逆の場合も片方のシートはそのまま使用することができるので、情報量に変更があっても簡単に対応が可能となる。更に、第1のシートは、第2のシートと分離可能に設けられていることで、当該第1のシートに保管する適性を付与することができる。

また、前記第1のシートは前記第2のシートからはみ出す状態で保持されるため、宅配商品の受取人が第1のシートの存在を認識し易くなる。

40

更に、前記第2のシートにミシン目を形成した構成によれば、第2のシートからはみ出した第1のシート部分を掴んで捲り取るようにして切り取ることができる。

また、折り畳まれた状態における第1のシートが、第2のシートとの合わせ面に剥離処理層を備えた構成であるため、第2のシートから第1のシートを綺麗に剥離して保管することができる。

更に、第2のシートに剥離可能な受領書が仮着された構成により、第2のシートを被着体から剥離することなく配達人が受領書のみを持ち帰ることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0014】

50

以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する。

【0015】

図1には、本実施形態に係る配送伝票が宅配商品の梱包体を被着体として貼付された概略斜視図が示され、図2には、その分解側面図が示されている。これらの図において、配送伝票10は、第1のシート11と、当該第1のシート11を被着体Wとの間に保持するように貼付可能な第2のシート12とにより構成されている。

【0016】

前記第1のシート11は、第1のシート基材11Aと、その片面（図2中下面）側に設けられた剥離処理層11Bとを備えて構成されている。第1のシート11は、本実施形態では、図2に示されるように、折り曲げ線BLに沿って二つ折りに折り畳まれた状態で用いられる。また、第1のシート基材11Aの各面には、宅配商品の品名、金額、領収書等の秘匿情報に関する印字P1が施される。なお、剥離処理層11Bが設けられる領域内の印字P1は、当該剥離処理層11Bを積層する前の段階で施されるため、例えば、クーリングオフの説明、キャンペーン情報、宣伝、広告、インフォメーション等の定型的な内容が印字されている。

【0017】

前記第2のシート12は、第1のシート11とは別体に設けられたものである。この第2のシート12は、略長方形の平面形状を備えた第2のシート基材12Aと、当該第2のシート基材12Aの一方の面（下面）に設けられた接着剤層12Bとにより構成され、第2のシート基材12Aの他方の面（上面）には、宅配商品の届け先、送り主等の配送情報に関する印字P2が施されるようになっている。

【0018】

また、第2のシート12は、平面視略コ字状の軌跡に沿って延びるミシン目Cが形成され、このコ字の開放側が第1のシート11の長手方向一端側に位置するようになっている。また、第2のシート12の長さL及び幅Wは、それぞれ第1のシート11を折り畳んだときの長さL1及び幅W1よりも大きく設定され、第1のシート11を折り畳んで第2のシート12の接着剤層12Bに重ね合わせたときに、前記ミシン目C内に収まって当該ミシン目Cの外側の接着剤層12Bが第1のシート11の外周側に表出するようになっている。

【0019】

なお、第1のシート11の折り曲げ線BLは、当該第1のシート11の図2中左右方向の中間よりやや左寄りに設けられている。これにより、第1のシート11が折り曲げ線BLで二つ折りに折り曲げられること、接着剤層12Bに剥離処理の施されていない第1のシート基材11Aが不用意に接着して、当該第1のシート11が第2のシート12から剥離できなくなることを効果的に防止することができる。

【0020】

次に本実施形態における配送伝票10の使用方法について説明する。

【0021】

図2に示されるように、第1のシート11を折り曲げ線BLで二つ折りに折り畳み、その上面側を合わせ面として第2のシート12の接着剤層12Bに仮着させる。この仮着は、二つ折りの第1のシート11が前記ミシン目C内に収まる位置で行われるとともに、ミシン目Cのコ字の開放側から第1のシート11の一端部が所定量突出してはみ出すように相対位置決めされる。

【0022】

次いで、第1のシート11の外周側、すなわち、ミシン目Cの外側に表出する接着剤層12Bを被着体Wに接着することにより、第1のシート11が第2のシート12と被着体Wとの間に挟まれる状態で保持される。

【0023】

なお、配送商品の受取人は、第1のシート11の前記突出した部分を摘み、これを引き上げるようにすることで、第2のシート12のミシン目Cに沿って取り出すことができ、その後、第2のシート12から分離することで、第1のシート11のみを保管すること

10

20

30

40

50

ができる。

【0024】

従って、このような実施形態によれば、第1のシート11の両面を印字面として利用することができるので、配送伝票10の平面積を大型化しなくても、印字情報の増大に十分対応することができる。また、第2のシート12の接着剤層12Bは、第2のシート基材12Aの一方の面全域に設けられているため、第1のシート11の合わせ面に仮着した状態で当該第1のシート11を被着体Wとの間に保持することができるので、第1のシート11が水平方向に抜け出て脱落してしまうような不都合は生じない。

【0025】

以上のように、本発明を実施するための最良の構成、方法等は、前記記載で開示されているが、本発明は、これに限定されるものではない。

すなわち、本発明は、主に特定の実施形態に関して特に図示、説明されているが、本発明の技術的思想及び目的の範囲から逸脱することなく、以上説明した実施形態に対し、形状、位置若しくは配置等に関し、必要に応じて当業者が様々な変更を加えることができるものである。

【0026】

例えば、前記実施形態では、第1のシート11が第2のシート12の一端から突出する状態で当該第2のシート12と被着体Wとの間に保持される場合を図示、説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、図3に示される構成としてもよい。この構成は、ミシン目Cを第2のシート12の面内で閉ループ状に形成するとともに、当該ミシン目Cのコーナー部に切欠部20を形成し、当該切欠部20内に第1のシート11の一部が表出するように構成したものである。

このような構成では、前記切欠部20内に指先を挿入して第1のシート11のコーナー部を摘み、これを捲り取るようにミシン目Cに沿って切り取って取り出すことができる。

【0027】

また、図4に示されるように、第2のシート12の表面に、受取人による受領印の捺印領域が設けられたシート状の受領書25を剥離可能な状態で仮着することもできる。この際、受領書25は、図示しない疑似接着剤層を介して第2のシート12に貼付することで、容易に剥離することができる。なお、疑似接着剤層としては、二層の積層構造によって構成でき、その界面で剥離可能な公知の材料を用いることができる。各層の形成材料としては、ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、アクリル樹脂、天然ゴム系樹脂、塩化ビニル-酢酸ビニル共重合体、エチレン-酢酸ビニル共重合体、紫外線硬化ニス、ポリエチレンテレフタレート樹脂等を例示することができ、それらを異種材料どうして任意に組合せて疑似接着剤層とすることができる。

【0028】

また、前記実施形態では、第1のシート11が二つ折りされる場合を示したが、三つ折り以上としてもよい。このように、第1のシート11に記載する情報量が増えたとしても、第2のシート12は変更せずに第1のシート11のみの大きさを変更するだけなので、情報量に変更があっても簡単に対応が可能となる。また、このような場合でも第1のシート11の第2のシート12への合わせ面は、剥離処理が施された面とし、他の面よりも大きくなるように折り曲げ線BLを設けるほうが好ましい。

【0029】

更に、第1のシート11の前記合わせ面のL1方向の長さを他の面の長さよりも長く設定してもよい。このようにすることで、剥離処理の施されていない第1のシート基材11Aが接着剤層12Bに接着する虞をなくすることができる。

【0030】

また、第1のシート11を構成する第1のシート基材11Aの片面側全域に剥離処理層11Bを設けなくてもよい。すなわち、第1のシート11を折り畳んだときの第2のシート12Aの接着剤層12Bとの合わせ面領域のみに剥離処理層を設けることでもよい。このような構成では、秘匿情報が可変情報である場合の対応に自由度を付与することができ

10

20

30

40

50

る。

【図面の簡単な説明】

【0031】

【図1】 本実施形態に係る配送伝票の使用状態を示す概略斜視図。

【図2】 図1の分解側面図。

【図3】 本発明の変形例を示す概略斜視図。

【図4】 本発明の他の変形例を示す概略斜視図。

【符号の説明】

【0032】

10 配送伝票

11 第1のシート

11B 剥離処理層

12 第2のシート

12B 接着剤層

25 受領書

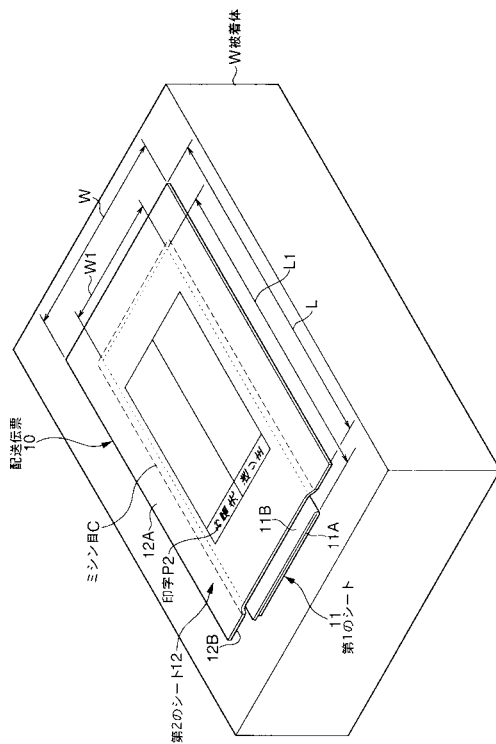
C ミシン目

P1、P2 印字

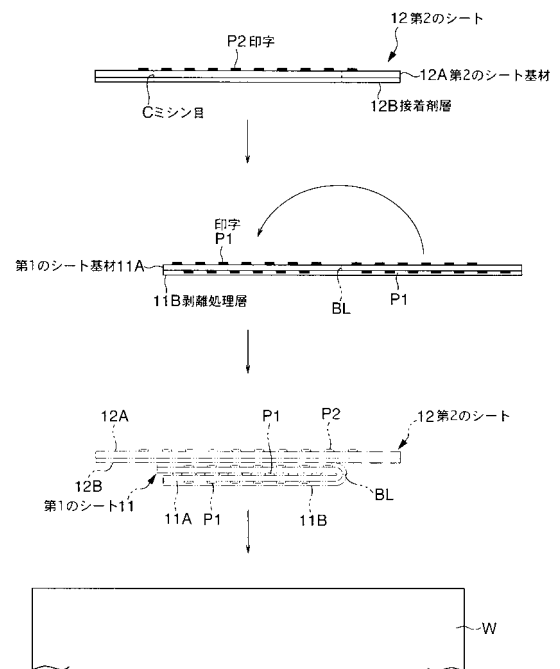
W 被着体

10

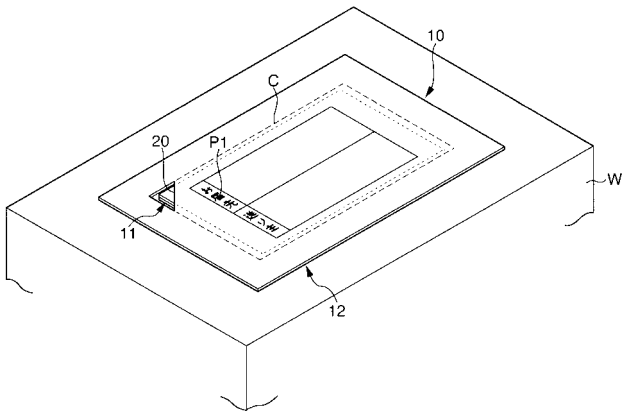
【図1】



【図2】



【図 3】



【図 4】

